【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】令和4年5月13日(2022.5.13)

【国際公開番号】WO2019/217740
【公表番号】特表2021-522118(P2021-522118A)
【公表日】令和3年8月30日(2021.8.30)
【出願番号】特願2020-558565(P2020-558565)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｄ 47/08(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｄ 47/08 １２０

【手続補正書】
【提出日】令和4年4月28日(2022.4.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
容器の蓋であって、
容器本体に取り付けられるように構成された容器上部と、
前記容器上部に形成された蓋開口部と、
前記容器上部に移動可能に接続され、前記蓋開口部を選択的に覆うように構成されたクロージャであって、前記蓋開口部が覆われる第１の位置と前記蓋開口部が覆われていない第２の位置との間で移動可能なクロージャと、
前記容器上部および前記クロージャの１つまたは複数に移動可能に接続され、前記クロージャを前記第１の位置に選択的に保持するように構成された押しボタンであって、ラッチ位置とラッチ解除位置との間で前記容器上部及び前記クロージャに対して移動可能な押しボタンと、
ロック位置とロック解除位置との間で移動可能に前記容器上部および前記クロージャの１つまたは複数に接続されたロックであって、前記ロック位置にある前記ロックは、前記押しボタンが前記ラッチ位置から前記ラッチ解除位置へ移動することを禁止するように構成されている、ロックと、
を備え、
前記ロックは、前記容器上部に回転可能に接続された取っ手を含み、前記取っ手は、前記ロックを前記ロック位置と前記ロック解除位置との間で移動させるように回転可能である、容器の蓋。
【請求項２】
前記ロック位置にある前記ロックは、前記押しボタンの少なくとも一部を覆うことにより、前記押しボタンが前記ラッチ位置から前記ラッチ解除位置に移動することを禁止するように構成されている、請求項１に記載の容器の蓋。
【請求項３】
請求項２に記載の容器の蓋であって、前記押しボタンの前記少なくとも一部が、
前記押しボタンの上半分と、
前記ロックが前記ロック解除位置にあるときにアクセス可能な前記押しボタンの接触部分の半分と、
前記押しボタンの中心軸と、

前記押しボタンの重心と、
のうち少なくとも１つを含む、容器の蓋。
【請求項４】
請求項１乃至３のいずれか一項に記載の容器の蓋であって、
前記クロージャは、前記容器上部に回転可能に接続され、
前記クロージャは突起を備え、前記突起は、前記突起を通過する前記クロージャに対する前記取っ手の回転を妨げるように構成され、
前記取っ手は、
前記クロージャの前記突起が前記取っ手の少なくとも一部の上方に配置される前記ロック位置と、
前記取っ手の少なくとも一部が前記クロージャの前記突起の上方に配置され、前記クロージャと前記取っ手が前記容器上部に対して独立して回転可能な前記ロック解除位置と、の間で回転可能である、容器の蓋。
【請求項５】
前記ロック解除位置において、前記クロージャおよび前記取っ手は、前記容器上部に対して、同じ軸の周りで独立して回転可能である、請求項１乃至４のいずれか一項に記載の容器の蓋。
【請求項６】
請求項１乃至３のいずれか一項に記載の容器の蓋であって、
前記クロージャは、前記容器上部に回転可能に接続され、
前記クロージャは突起を備え、前記突起は、前記突起を通過する前記クロージャに対する前記取っ手の回転を妨げるように構成され、
前記取っ手は、
前記クロージャの前記突起が前記取っ手の少なくとも一部の上方に配置される前記ロック位置と、
前記クロージャの前記突起が前記取っ手の受容部分と係合し、前記クロージャおよび前記取っ手が前記容器上部に対して従属的に回転可能である第１のロック解除位置と、
前記取っ手の少なくとも一部が前記クロージャの前記突起の上方に配置され、前記クロージャと前記取っ手が前記容器上部に対して独立して回転可能な第２のロック解除位置と、の間で回転可能である、容器の蓋。
【請求項７】
前記押しボタンは、前記容器上部および前記クロージャのうちの少なくとも１つに対して、前記ラッチ位置と前記ラッチ解除位置との間で並進移動および回転する、請求項１乃至６のいずれか一項に記載の容器の蓋。
【請求項８】
請求項１乃至７のいずれか一項に記載の容器の蓋であって、
前記押しボタンは、押しボタン係合部材を備え、
前記クロージャは、クロージャ係合部材を備え、
前記押しボタン係合部材および前記クロージャ係合部材は、前記クロージャを前記第１の位置に選択的に保持するために互いに係合するように構成され、
前記押しボタンは、前記ロックが前記ロック解除位置にあるときにアクセス可能な接触部分をさらに備え、
前記押しボタンが前記ラッチ位置にあるときに、前記接触部分の後部下部は、前記容器上部から第１の距離だけ水平方向に離間しており、
前記押しボタンが前記ラッチ位置にあり、前記クロージャが前記第１の位置にあるとき、前記押しボタン係合部材は、係合距離だけ前記クロージャ係合部材と水平に重なり、
前記係合距離は前記第１の距離よりも大きい、容器の蓋。
【請求項９】
容器であって、
容器本体と、

前記容器本体に取り付け可能な容器の蓋とを備える容器であって、該容器の蓋は、
前記容器本体の内部へのアクセスを提供する注ぎ口と、
前記注ぎ口を選択的に密閉するように構成されたクロージャであって、前記注ぎ口が密閉される第１の位置と前記注ぎ口が密閉されていない第２の位置との間で前記注ぎ口に対して移動可能であるクロージャと、
前記クロージャを前記第１の位置に選択的に保持するように構成された押しボタンであって、前記第１の位置に前記クロージャを保持するラッチ位置と、前記押しボタンが前記第１の位置に前記クロージャを保持しないラッチ解除位置との間で、前記注ぎ口および前記クロージャの少なくとも１つに対して移動可能な押しボタンと、
前記押しボタンの操作を選択的に禁止するように構成されたロックであって、前記押しボタンの操作が前記ロックによって禁止されるロック位置と、前記押しボタンの操作が前記ロックによって禁止されないロック解除位置との間で、前記注ぎ口に対して移動可能なロックと、
を備え、
前記ロックは、前記注ぎ口に対して回転可能な取っ手を含み、前記取っ手は、前記ロックを前記ロック位置と前記ロック解除位置との間で移動させるように回転可能である、容器。
【請求項１０】
前記ロック位置にある前記ロックは、前記押しボタンの少なくとも一部への開放力の付与を禁止することによって、前記押しボタンの動作を禁止するように構成される、請求項９に記載の容器。
【請求項１１】
請求項１０に記載の容器であって、前記押しボタンの少なくとも一部が、
前記押しボタンの上半分と、
前記ロックが前記ロック解除位置にあるときにアクセス可能な前記押しボタンの接触部分の半分と、
前記押しボタンの中心軸と、
前記押しボタンの重心とのうち少なくとも１つを含む、容器。
【請求項１２】
請求項９乃至１１のいずれか一項に記載の容器であって、
前記クロージャは、前記注ぎ口に対して回転可能であり、
前記クロージャは突起を備え、前記突起は、前記突起を通過する前記クロージャに対する前記取っ手の回転を妨げるように構成され、
前記取っ手は、
前記クロージャの前記突起が前記取っ手の少なくとも一部の上方に配置される前記ロック位置と、
前記取っ手の少なくとも一部が前記クロージャの前記突起の上方に配置され、前記クロージャと前記取っ手が前記注ぎ口に対して独立して回転可能な前記ロック解除位置と、の間で回転可能である、容器。
【請求項１３】
前記押しボタンは、前記注ぎ口および前記クロージャのうちの少なくとも１つに対して、前記ラッチ位置と前記ラッチ解除位置との間で並進移動および回転する、請求項９乃至１２のいずれか一項に記載の容器。
【請求項１４】
請求項９乃至１３のいずれか一項に記載の容器であって、
前記押しボタンは、押しボタン係合部材を備え、
前記クロージャは、クロージャ係合部材を備え、
前記押しボタン係合部材および前記クロージャ係合部材は、前記クロージャを前記第１の位置に選択的に保持するために互いに係合するように構成され、
前記押しボタンは、前記ロックが前記ロック解除位置にあるときにアクセス可能な接触部

分をさらに備え、
前記接触部分の後部下部は、前記注ぎ口に対して第１の距離まで水平に移動可能であり、
前記押しボタンが前記ラッチ位置にあり、前記クロージャが前記第１の位置にあるとき、
前記押しボタン係合部材は、係合距離だけ前記クロージャ係合部材と水平に重なり、
前記係合距離は前記第１の距離よりも大きい、容器。
【請求項１５】
容器の蓋であって、
互いに間隔を置いて配置された２つのピボットマウントを有する容器上部と、
前記容器上部に接続されたロックであって、前記ロックが前記蓋の開放を禁止するロック位置と、前記ロックが取っ手を形成するロック解除位置との間で回転可能なロックと、
を備え、
前記ロックの第１の端部は、前記２つのピボットマウントの一方で前記容器上部に接続され、前記ロックの第２の端部は、前記２つのピボットマウントの他方で前記容器上部に接続される、容器の蓋。
【請求項１６】
請求項１５に記載の容器の蓋であって、前記蓋が閉じている第１の位置と前記蓋が開いている第２の位置との間で移動可能なクロージャをさらに備え、
前記クロージャは、前記２つのピボットマウントで前記容器上部に接続され、
前記クロージャ及び前記ロックは同じ軸の周りで回転可能である、容器の蓋。
【請求項１７】
請求項１６に記載の容器の蓋であって、前記ロックは、前記クロージャに係合可能であり、かつ前記クロージャから係合解除可能であり、
前記ロックが前記クロージャと係合すると、前記ロック及び前記クロージャの両方が前記軸の周りで一緒に回転可能であり、
前記ロックが前記クロージャから係合解除すると、前記ロック及び前記クロージャは前記軸の周りで独立して回転するように構成されている、容器の蓋。
【請求項１８】
請求項１６又は１７に記載の容器の蓋であって、前記クロージャが、前記ロックの第１の端部と前記ロックの前記第２の端部との間に配置されている、容器の蓋。
【請求項１９】
請求項１５乃至１８のいずれか一項に記載の容器の蓋であって、押しボタンをさらに備え、前記ロック位置において、前記ロックは前記押しボタンの一部を覆い、前記押しボタンの動作を禁止する、容器の蓋。
【請求項２０】
請求項１５に記載の容器の蓋であって、
前記蓋が閉じている第１の位置と前記蓋が開いている第２の位置との間で移動可能なクロージャであって、前記第２の位置に向かって付勢されているクロージャと、
前記第１の位置にあるときの前記クロージャが前記第１の位置に保持されるラッチ位置と、前記クロージャが前記第１の位置に保持されないラッチ解除位置との間で移動可能な押しボタンと、
を備え、
前記ロック位置では、前記ロックは前記クロージャの周りに延びて前記押しボタンを覆う、容器の蓋。
【請求項２１】
前記ロックが前記ロック解除位置にあるとき、前記クロージャが前記第１の位置にあり、前記押しボタンが押されると、前記押しボタンは、前記ラッチ位置から前記ラッチ解除位置に並進移動および回転し、前記クロージャは、前記第１の位置から前記第２の位置に自動的に移動する、請求項２０に記載の容器の蓋。